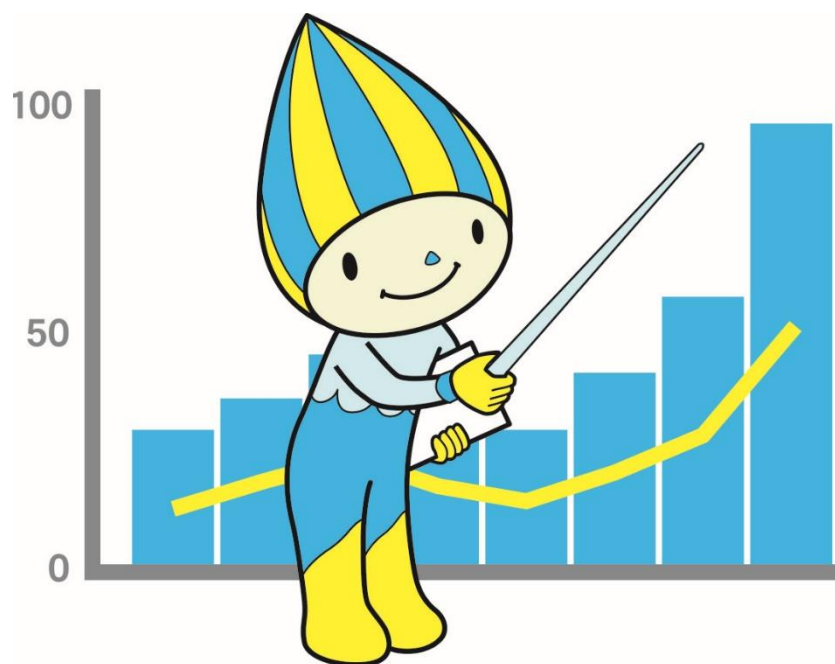


# 統計からみた 岐阜県の特徴やじまん



2024年10月更新  
岐阜県 環境生活部 統計課

## <目次>

- ① 「岐阜」の由来
- ② 日本の真ん中ぎふ
- ③ 日本の人口重心ぎふ
- ④ ぎふの自然
- ⑤ ぎふの農産物
- ⑥ 岐阜県の人口
- ⑦ 人口減少の状況
- ⑧ 人口減少の要因
- ⑨ ぎふの産業
- ⑩ 製造業の内訳
- ⑪ 品目別のトップシェア
- ⑫ ぎふの観光
- ⑬ ぎふ県民の生活
- ⑭ ぎふ県民の好きなもの

## ①「岐阜」の由来

### 「岐阜」の地名は織田信長が命名

「岐阜」の地名は、稲葉山に居城を移した織田信長が、尾張の政秀寺の禅僧である沢彦宗恩（たくげんそうおん）が進言した「岐山・岐陽・岐阜」の3つのうちから選んだものと言われています。沢彦和尚は、中国の「周の文王、岐山より起り、天下を定む」という故事にならってこれらの地名を考えたといい、天下統一を目指す信長は「岐阜」の名称を選んで、稲葉山城下付近の「井口（いのくち）」を「岐阜」に改めたといいます。（「安土創業録」から）

なお、「岐阜」という地名は、信長が名づける以前から禅僧の間で使われていたとも言われ、その由来には諸説があります。

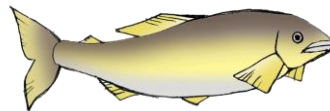
また、県の花は「れんげ草」、県の木は「イチイ」、県の魚は「あゆ」、県の鳥は「ライチョウ」と、それぞれ県の特徴を示したものとなっています。

### 岐阜県の「花」「木」「魚」「鳥」 ～県のシンボルは特徴を示しています～



春のどかな風景を象徴する花で、岐阜県は古くかられんげ草の主産地として知られています。

県の花：れんげ草



あゆは、美しい姿と良い香りで大切にされており、岐阜県のあゆは長良川の鵜飼とともに全国的に有名です。

県の魚：あゆ



昔、この木で笏（しゃく）を作って天皇にさしあげたところ正一位という位を受けました。それ以来、イチイと呼ばれていると伝えられています。

県の木：イチイ



ライチョウは、日本アルプスのうちでも、2400m以上の高い山に住み、羽毛は、夏は褐色、冬は白に変わります。国の特別天然記念物に指定されています。

県の鳥：ライチョウ

※イラストはイメージです。

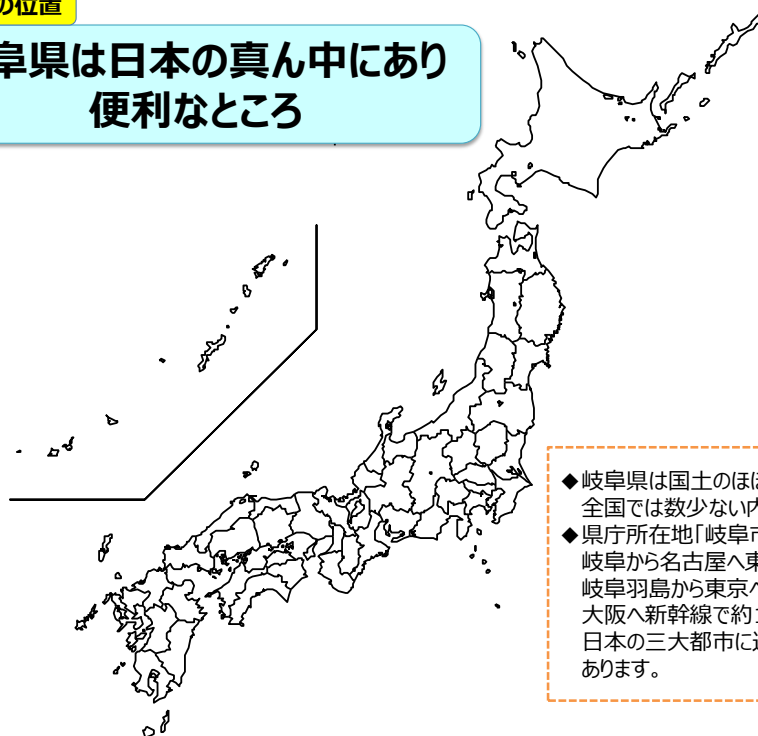
## ②日本の真ん中ぎふ

岐阜県は日本のほぼ中央に位置。  
三大都市圏が近く、便利なところ

岐阜県は、国土のほぼ中央に位置しており、全国では数少ない内陸県のひとつです。県庁所在地である岐阜市を起点にすると、岐阜から名古屋へ東海道線で約 20 分、岐阜羽島から東京へ新幹線で約 2 時間、大阪へは約 1 時間と日本の三大都市に近く、便利な位置にあります。

### 岐阜県の位置

岐阜県は日本の真ん中にあり  
便利なところ



- ◆ 岐阜県は国土のほぼ中央に位置し、全国では数少ない内陸県のひとつです。
- ◆ 県庁所在地「岐阜市」からみると、岐阜から名古屋へ東海道線で約20分、岐阜羽島から東京へ新幹線で約2時間、大阪へ新幹線で約1時間と、日本の三大都市に近く、便利な位置にあります。

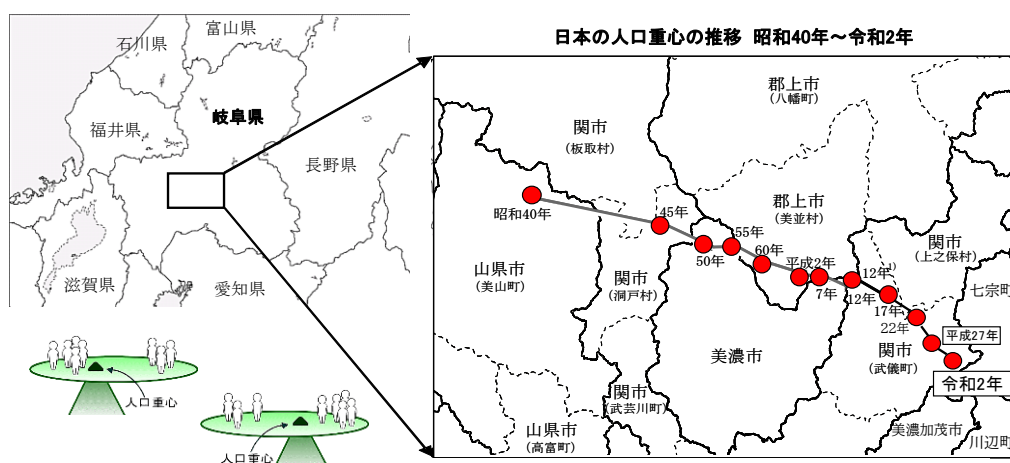
### ③日本の人口重心ぎふ

## 日本の人口重心は一貫して岐阜県内にある

地理上で真ん中にあることに加えて、人間の身体で言えば「へそ」に当たる日本の「人口重心」は岐阜県関市（旧武儀町地内）にあり、40年以上の長きにわたり一貫して岐阜県内にあり、まさに岐阜は日本の真ん中と言えるところとなっています。

なお、この人口重心は日本国内の人口移動を端的に示す指標として有効です。人口重心は、一貫して南東へ移動しており、人が首都圏方向へ移動（集中）していることがわかります。

人間の身体で言えば「へそ」に当たる「人口重心」とは、人口の1人1人が同じ体重と仮定して、日本の人口が、全体として平衡を保つことのできる点をいいます。



1)平成17年に人口重心の算出方法が変更されているため、平成12年は、平成17年からの推計方法により遡及適用したものと2地点を表示している。

2)( )内は、平成12年10月1日現在の市町村名。

なお、人口は国勢調査人口によるため、5年毎の表示となる。

#### ④ぎふの自然

### 緑豊かな森林と美しい清流 ～水に恵まれ水力エネルギーは全国トップ～

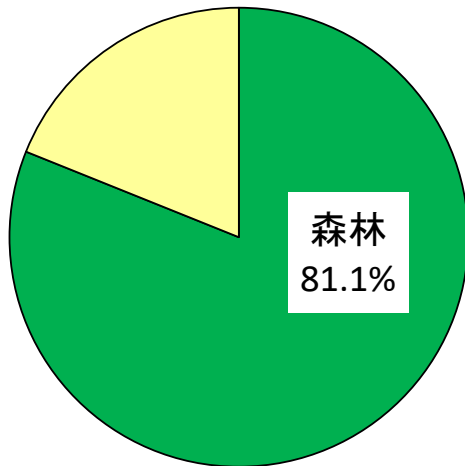
岐阜県の面積は1万621.29㎢で国土の2.8%を占め、全国7位と広い県土を持つ県です。

北部の飛騨地域には、穂高岳、槍ヶ岳、御嶽山、乗鞍岳や白山など3千メートル級の山々がそびえ、南部の美濃地域は濃尾平野が広がり、木曾川、長良川、揖斐川の木曾三川に囲まれた海拔ゼロメートルの水郷地帯まで及んでおり、「飛山濃水」の地と呼ばれています。

県土の8割は豊かな森林が占めており、森林率は高知県に次いで全国2位です。その豊かな森は代々の県民によって守り受け継がれており、人工林ヒノキの蓄積量は60,680千㎢<sup>3</sup> [森林資源の現況(令和4年(2022年)3月31日現在)]と全国2位、東濃桜のブランドで名高いヒノキの素材生産量は145千㎢<sup>3</sup> [令和4年(2022年)木材需給報告書]で全国7位です。

### 県土の約8割が豊かな森林 森林率は、全国2位！ ～豊かな森が清らかな水を蓄える～

県土に占める森林の割合（森林率）



#### 【森林率】

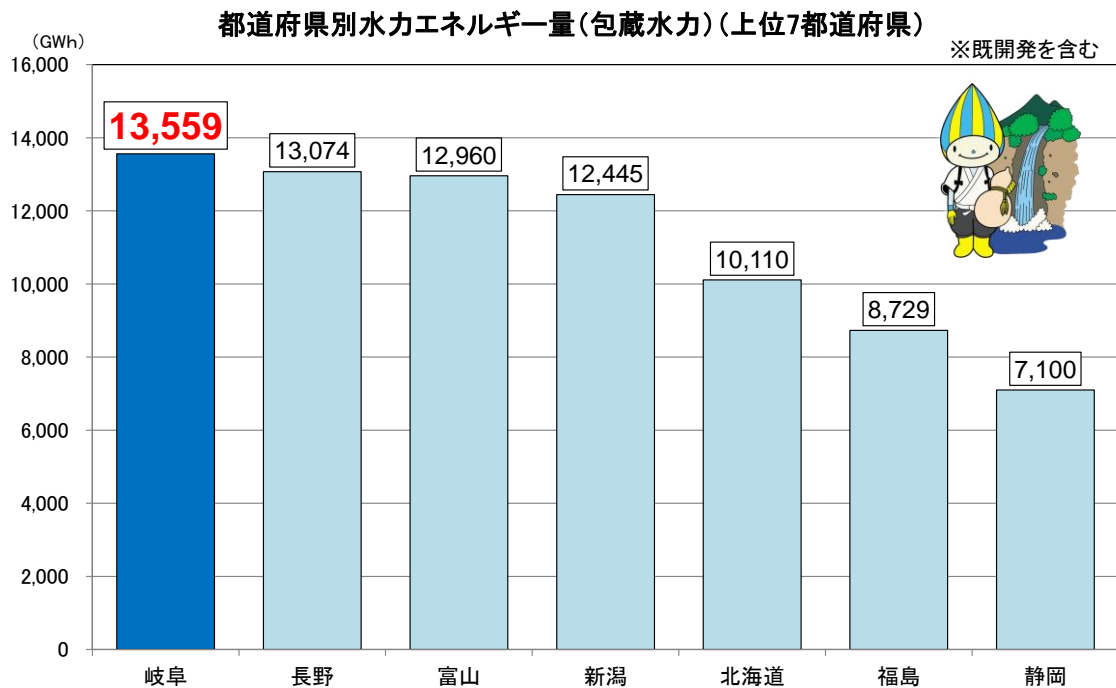
- 1位 高知県 83.6%
- 2位 岐阜県 81.1%**
- 3位 長野県 78.7%
- 4位 島根県 78.2%
- 5位 山梨県 78.0%

出典：林野庁「都道府県別森林率・人工林率」(令和4年(2022年)3月31日現在)

この豊かな森は清らかな水を蓄え、太平洋や日本海に注ぐ多くの川の源となり、人々の暮らしを支えています。本県を流れる一級河川の河川延長は3,323.7km(岐阜県「河川調書」)で、郡上市の宗祇水、養老町の養老の滝、県の三大河川のひとつ長良川が環境省の名水百選に選定されています。資源エネルギー庁によると、本県は水力発電に使用可能な包蔵水力13,559GWhと全国一を誇り、水力エネルギー量は全国トップと水に恵まれていることを象徴しています。

豊かな森から流れ出る水は人々の生活に必要な不可欠な水源として、岐阜県民はもちろん、名古屋市など下流の多くの人々に活用されています。また、これらの水は田畑を潤し、様々な生き物を育み、県の魚であるアユをはじめ、アマゴ、カジカ、モクズガニ等、里の人々に豊かな恵みを与えています。2022年漁業・養殖業生産統計によると、鮎の漁獲量は181tと全国5位、養殖鮎の収穫量は861tと全国2位を誇っています。

## 豊かな水資源 岐阜県の水力エネルギー量は1位！



出典: 資源エネルギー庁HP「都道府県別包蔵水力」(2022年3月31日現在)

## ⑤ぎふの農産物

### 自然条件を活かした農産物が豊富

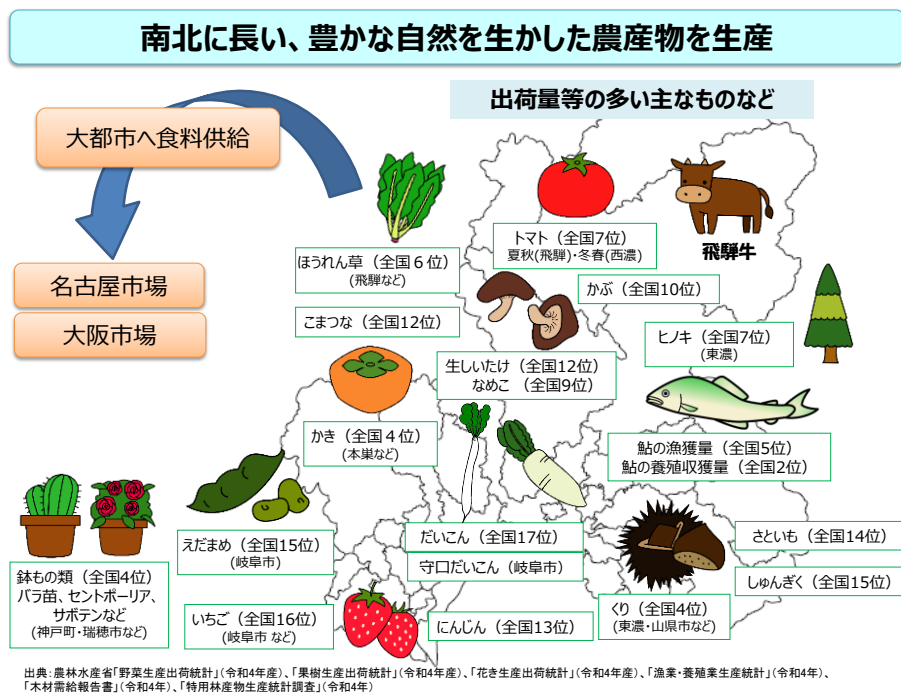
3千メートル級の山々を抱える飛騨地方と海拔ゼロメートルの水郷地帯まで広がる美濃地方まで及ぶ本県は気候も変化に富んでいます。

岐阜市（美濃地方）の平均気温の平年値（1991年から2020年までの30年間の平均値：気象庁）は16.2℃と温暖である一方、高山市（飛騨地方）は11.4℃と寒冷な気候です。日照時間の平年値は高山市では年間1638.3時間であるのに対し、岐阜市では年間2108.6時間と長く、長い方から全国21位となっています。

こうした「日本の縮図」ともいえる変化に富んだ自然条件と、名古屋など大消費地に比較的近いという立地条件を生かし多彩な農業が営まれています。とりわけ、美濃から飛騨にかけて多種多様な作物が年間を通じて栽培され、いつでも新鮮な農産物が供給できるということが特徴です。

2022年野菜生産出荷統計により主なものを取り上げると、「ほうれんそう9,790t 全国6位」、「トマト25,000t 全国7位」、海外からも高い評価を得ている「柿14,600t 全国4位」（岐阜県瑞穂市は甘柿の代表品種「富有柿」の発祥の地）、秋の和菓子「栗きんとん」が有名な「栗628t 全国4位」などがあります。さらには、和牛のオリンピックと呼ばれる全国和牛能力共進会でグランドチャンピオンを獲得し優れた肉質を誇るブランド「飛騨牛」に代表される肉用牛もあり、日本を代表する味覚が揃っています。

これら農産物は、岐阜県ならではの「味」として地域で親しまれる一方、名古屋市場や大阪市場など県外の消費地に出荷され、多くの人々の「食」を支えています。





岐阜県の主な農産物の出荷量等及び全国順位

品目			量	単位	岐阜県の順位	1位	2位	3位
あゆ	令和4年 (2022年)	養殖量	861	t	2位	愛知	岐阜	和歌山
鉢もの類	令和4年 (2022年)	出荷量	11,400	千鉢	4位	愛知	埼玉	静岡
かき	令和4年 (2022年)	出荷量	14,600	t	4位	和歌山	奈良	福岡
くり	令和4年 (2022年)	出荷量	628	t	4位	茨城	熊本	愛媛
あゆ	令和4年 (2022年)	漁獲量	181	t	5位	滋賀	栃木	茨城
ます	令和4年 (2022年)	養殖量	339	t	6位	長野	静岡	山梨
ほうれんそう	令和4年 (2022年)	出荷量	9,790	t	6位	群馬	千葉	埼玉
ひのき	令和4年 (2022年)	素材生産量	145	千m <sup>3</sup>	7位	高知	岡山	愛媛
トマト	令和4年 (2022年)	出荷量	25,000	t	7位	熊本	北海道	愛知
花壇用苗もの類	令和4年 (2022年)	出荷量	15,800	千本	9位	埼玉	愛知	千葉
なめこ	令和4年 (2022年)	生産量	463	t	9位	長野	新潟	山形
かぶ	令和4年 (2022年)	出荷量	2,430	t	10位	千葉	埼玉	青森
もも	令和4年 (2022年)	出荷量	557	t	10位	山梨	福島	長野

(出典：農林水産省「野菜生産出荷統計」(令和4年産)、「果樹生産出荷統計」(令和4年産)、「花き生産出荷統計」(令和4年産)、「漁業・養殖業生産統計」(令和4年)、「木材需給報告書」(令和4年)、「特用林産物生産統計調査」(令和4年))

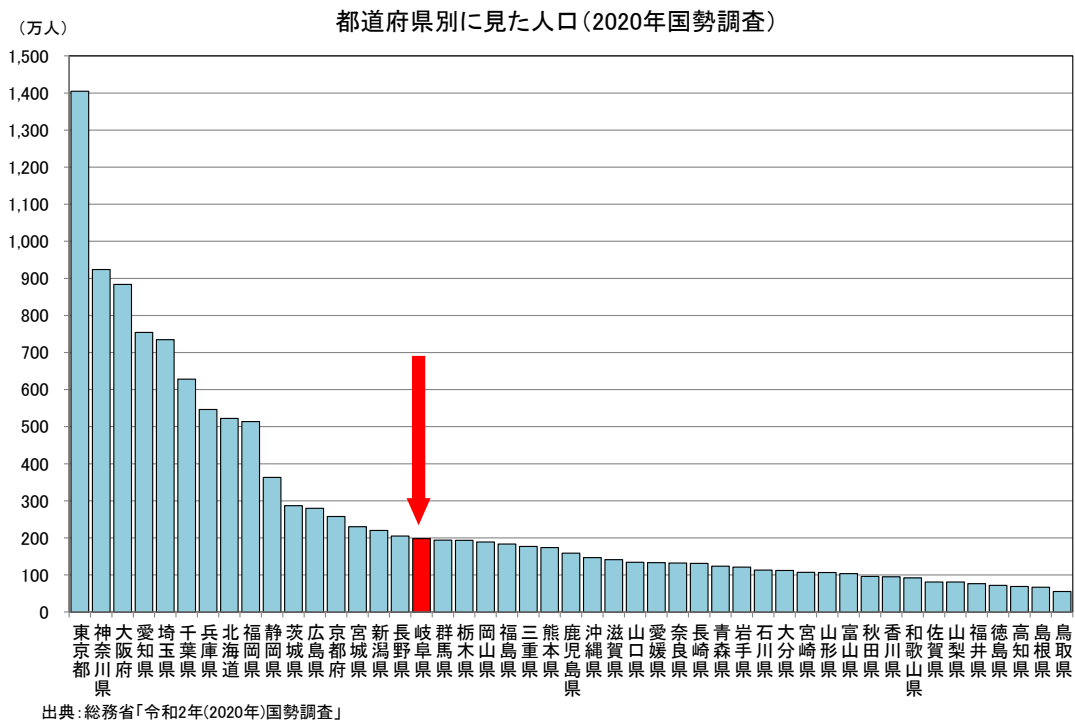
## ⑥岐阜県の人口

### 岐阜県の人口は多い方から全国 17 位

令和2年(2020年)国勢調査によると、2020年10月1日現在の日本の人口は1億2615万人(126,146,099人)となっており、岐阜県の人口198万人(1,978,742人)は全国17位で、全体の1.6%を占めています。

都道府県別にみると、東京都(1405万人)が最も多く、次いで神奈川県(924万人)、大阪府(884万人)、愛知県(754万人)、埼玉県(734万人)と続いています。

一方、人口が最も少ないのは鳥取県(55万人)で、次いで島根県(67万人)、高知県(69万人)、徳島県(72万人)、福井県(77万人)と続いています。



<都道府県別人口・世帯数>

都道府県名	人 口					一 般 世 帯 数				
	令和2年 (2020年) (人)	順位	平成27年 (2015年) (人)	2015~2020年の増減		令和2年 (2020年) (世帯)	順位	平成27年 (2015年) (世帯)	2015~2020年の増減	
				増減数 (人)	増減率 (%)				増減数 (世帯)	増減率 (%)
全国	126,146,099		127,094,745	△ 948,646	△ 0.75	55,704,949		53,331,797	2,373,152	4.45
北海道	5,224,614	8	5,381,733	△ 157,119	△ 2.92	2,469,063	7	2,438,206	30,857	1.27
青森県	1,237,984	31	1,308,265	△ 70,281	△ 5.37	509,649	31	509,241	408	0.08
岩手県	1,210,534	32	1,279,594	△ 69,060	△ 5.40	490,828	32	489,383	1,445	0.30
宮城県	2,301,996	14	2,333,899	△ 31,903	△ 1.37	980,549	14	942,569	37,980	4.03
秋田県	959,502	38	1,023,119	△ 63,617	△ 6.22	383,531	40	387,392	△ 3,861	△ 1.00
山形県	1,068,027	36	1,123,891	△ 55,864	△ 4.97	396,792	38	392,288	4,504	1.15
福島県	1,833,152	21	1,914,039	△ 80,887	△ 4.23	740,089	22	730,013	10,076	1.38
茨城県	2,867,009	11	2,916,976	△ 49,967	△ 1.71	1,181,598	13	1,122,443	59,155	5.27
栃木県	1,933,146	19	1,974,255	△ 41,109	△ 2.08	795,449	19	761,863	33,586	4.41
群馬県	1,939,110	18	1,973,115	△ 34,005	△ 1.72	803,215	17	772,014	31,201	4.04
埼玉県	7,344,765	5	7,266,534	78,231	1.08	3,157,627	5	2,967,928	189,699	6.39
千葉県	6,284,480	6	6,222,666	61,814	0.99	2,767,661	6	2,604,839	162,822	6.25
東京都	14,047,594	1	13,515,271	532,323	3.94	7,216,650	1	6,690,934	525,716	7.86
神奈川県	9,237,337	2	9,126,214	111,123	1.22	4,210,122	2	3,965,190	244,932	6.18
新潟県	2,201,272	15	2,304,264	△ 102,992	△ 4.47	862,796	15	846,485	16,311	1.93
富山県	1,034,814	37	1,066,328	△ 31,514	△ 2.96	403,007	37	390,313	12,694	3.25
石川県	1,132,526	33	1,154,008	△ 21,482	△ 1.86	468,835	34	452,355	16,480	3.64
福井県	766,863	43	786,740	△ 19,877	△ 2.53	290,692	45	278,990	11,702	4.19
山梨県	809,974	42	834,930	△ 24,956	△ 2.99	338,057	41	330,375	7,682	2.33
長野県	2,048,011	16	2,098,804	△ 50,793	△ 2.42	829,979	16	805,279	24,700	3.07
岐阜県	1,978,742	17	2,031,903	△ 53,161	△ 2.62	779,029	20	751,726	27,303	3.63
静岡県	3,633,202	10	3,700,305	△ 67,103	△ 1.81	1,480,969	10	1,427,449	53,520	3.75
愛知県	7,542,415	4	7,483,128	59,287	0.79	3,233,126	4	3,059,956	173,170	5.66
三重県	1,770,254	22	1,815,865	△ 45,611	△ 2.51	741,183	21	718,934	22,249	3.09
滋賀県	1,413,610	26	1,412,916	694	0.05	570,529	28	536,706	33,823	6.30
京都府	2,578,087	13	2,610,353	△ 32,266	△ 1.24	1,188,903	12	1,151,422	37,481	3.26
大阪府	8,837,685	3	8,839,469	△ 1,784	△ 0.02	4,126,995	3	3,918,441	208,554	5.32
兵庫県	5,465,002	7	5,534,800	△ 69,798	△ 1.26	2,399,358	8	2,312,284	87,074	3.77
奈良県	1,324,473	29	1,364,316	△ 39,843	△ 2.92	543,908	30	529,258	14,650	2.77
和歌山県	922,584	40	963,579	△ 40,995	△ 4.25	393,489	39	391,465	2,024	0.52
鳥取県	553,407	47	573,441	△ 20,034	△ 3.49	219,069	47	216,244	2,825	1.31
島根県	671,126	46	694,352	△ 23,226	△ 3.34	268,462	46	264,080	4,382	1.66
岡山県	1,888,432	20	1,921,525	△ 33,093	△ 1.72	799,611	18	771,242	28,369	3.68
広島県	2,799,702	12	2,843,990	△ 44,288	△ 1.56	1,241,204	11	1,209,288	31,916	2.64
山口県	1,342,059	27	1,404,729	△ 62,670	△ 4.46	597,309	27	597,426	△ 117	△ 0.02
徳島県	719,559	44	755,733	△ 36,174	△ 4.79	307,358	44	304,911	2,447	0.80
香川県	950,244	39	976,263	△ 26,019	△ 2.67	406,062	36	397,602	8,460	2.13
愛媛県	1,334,841	28	1,385,262	△ 50,421	△ 3.64	599,941	26	590,629	9,312	1.58
高知県	691,527	45	728,276	△ 36,749	△ 5.05	314,330	42	318,086	△ 3,756	△ 1.18
福岡県	5,135,214	9	5,101,556	33,658	0.66	2,318,479	9	2,196,617	121,862	5.55
佐賀県	811,442	41	832,832	△ 21,390	△ 2.57	311,173	43	301,009	10,164	3.38
長崎県	1,312,317	30	1,377,187	△ 64,870	△ 4.71	556,130	29	558,380	△ 2,250	△ 0.40
熊本県	1,738,301	23	1,786,170	△ 47,869	△ 2.68	716,740	24	702,565	14,175	2.02
大分県	1,123,852	34	1,166,338	△ 42,486	△ 3.64	487,679	33	485,001	2,678	0.55
宮崎県	1,069,576	35	1,104,069	△ 34,493	△ 3.12	468,575	35	461,389	7,186	1.56
鹿児島県	1,588,256	24	1,648,177	△ 59,921	△ 3.64	725,855	23	722,372	3,483	0.48
沖縄県	1,467,480	25	1,433,566	33,914	2.37	613,294	25	559,215	54,079	9.67

(出典：総務省「令和2年(2020年)国勢調査」)

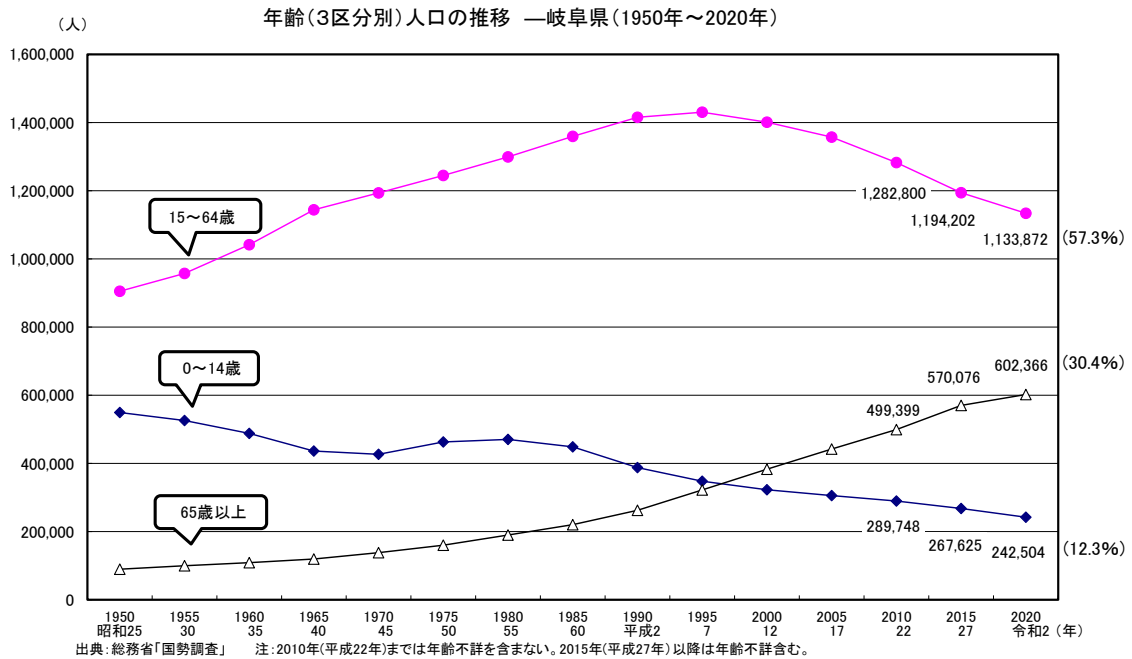
<市町村別人口・世帯数>

市町村名	人 口				一 般 世 帯 数			
	令和2年 (2020年) (人)	平成27年 (2015年) (人)	2015~2020年の増減		令和2年 (2020年) (世帯)	平成27年 (2015年) (世帯)	2015~2020年の増減	
			増減数 (人)	増減率 (%)			増減数 (世帯)	増減率 (%)
県 計	1,978,742	2,031,903	△ 53,161	△ 2.62	779,029	751,726	27,303	3.63
岐阜市	402,557	406,735	△ 4,178	△ 1.03	173,032	165,173	7,859	4.76
大垣市	158,286	159,879	△ 1,593	△ 1.00	62,189	60,000	2,189	3.65
高山市	84,419	89,182	△ 4,763	△ 5.34	32,634	32,570	64	0.20
多治見市	106,732	110,441	△ 3,709	△ 3.36	42,571	41,382	1,189	2.87
関市	85,283	89,153	△ 3,870	△ 4.34	33,358	32,726	632	1.93
中津川市	76,570	78,883	△ 2,313	△ 2.93	29,636	28,376	1,260	4.44
美濃市	19,247	20,760	△ 1,513	△ 7.29	7,445	7,502	△ 57	△ 0.76
瑞浪市	37,150	38,730	△ 1,580	△ 4.08	14,456	13,833	623	4.50
羽島市	65,649	67,337	△ 1,688	△ 2.51	24,789	23,872	917	3.84
恵那市	47,774	51,073	△ 3,299	△ 6.46	18,067	18,055	12	0.07
美濃加茂市	56,689	55,384	1,305	2.36	21,849	20,472	1,377	6.73
土岐市	55,348	57,827	△ 2,479	△ 4.29	21,333	21,011	322	1.53
各務原市	144,521	144,690	△ 169	△ 0.12	57,049	53,408	3,641	6.82
可児市	99,968	98,695	1,273	1.29	39,951	37,140	2,811	7.57
山泉市	25,280	27,114	△ 1,834	△ 6.76	9,486	9,614	△ 128	△ 1.33
瑞穂市	56,388	54,354	2,034	3.74	22,476	20,989	1,487	7.08
飛騨市	22,538	24,696	△ 2,158	△ 8.74	8,174	8,489	△ 315	△ 3.71
本巣市	32,928	33,995	△ 1,067	△ 3.14	11,697	11,321	376	3.32
郡上市	38,997	42,090	△ 3,093	△ 7.35	14,463	14,552	△ 89	△ 0.61
下呂市	30,428	33,585	△ 3,157	△ 9.40	11,656	12,098	△ 442	△ 3.65
海津市	32,735	35,206	△ 2,471	△ 7.02	11,572	11,481	91	0.79
岐南町	25,881	24,622	1,259	5.11	10,568	9,547	1,021	10.69
笠松町	22,208	22,750	△ 542	△ 2.38	8,578	8,171	407	4.98
養老町	26,882	29,029	△ 2,147	△ 7.40	9,380	9,366	14	0.15
垂井町	26,402	27,556	△ 1,154	△ 4.19	9,556	9,350	206	2.20
関ヶ原町	6,610	7,419	△ 809	△ 10.90	2,503	2,618	△ 115	△ 4.39
神戸町	18,585	19,282	△ 697	△ 3.61	6,802	6,565	237	3.61
輪之内町	9,654	9,973	△ 319	△ 3.20	3,420	3,131	289	9.23
安八町	14,355	14,752	△ 397	△ 2.69	5,008	4,709	299	6.35
揖斐川町	19,529	21,503	△ 1,974	△ 9.18	7,046	7,251	△ 205	△ 2.83
大野町	22,041	23,453	△ 1,412	△ 6.02	7,517	7,337	180	2.45
池田町	23,360	24,347	△ 987	△ 4.05	8,371	7,874	497	6.31
北方町	18,139	18,169	△ 30	△ 0.17	7,412	7,131	281	3.94
坂祝町	8,071	8,202	△ 131	△ 1.60	3,195	3,104	91	2.93
富加町	5,626	5,564	62	1.11	1,954	1,831	123	6.72
川辺町	9,860	10,197	△ 337	△ 3.30	3,697	3,555	142	3.99
七宗町	3,402	3,876	△ 474	△ 12.23	1,310	1,379	△ 69	△ 5.00
八百津町	10,195	11,027	△ 832	△ 7.55	3,868	3,884	△ 16	△ 0.41
白川町	7,412	8,392	△ 980	△ 11.68	2,856	2,988	△ 132	△ 4.42
東白川村	2,016	2,261	△ 245	△ 10.84	776	812	△ 36	△ 4.43
御嵩町	17,516	18,111	△ 595	△ 3.29	6,757	6,507	250	3.84
白川村	1,511	1,609	△ 98	△ 6.09	572	552	20	3.62

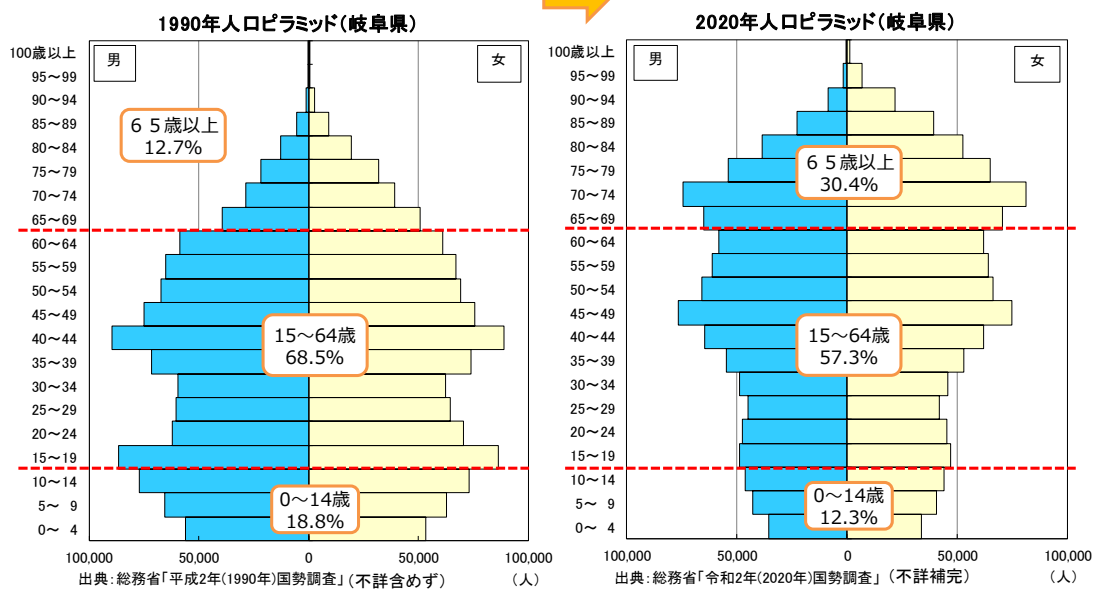
(出典：総務省「令和2年(2020年)国勢調査」)

また、少子高齢化が進行しており、0～14歳の子ども世代や15～64歳の現役世代が減少を続けているとともに、65歳以上の高齢者が増加を続けています。

人口に占める割合をみると、0～14歳人口は12.3%、15～64歳人口は57.3%、65歳以上人口は30.4%となっています。



人口ピラミッドをみると、高齢層の厚みが増した「つぼ型」に変化  
～若い世代ほど少ない年齢構造に～



⑦人口減少の状況

人口減少が進んでいる

岐阜県の人口は大正9年(1920年)の国勢調査開始以来、一貫して増加していましたが、平成17年(2005年)国勢調査で初めて減少に転じ、今回の令和2年(2020年)国勢調査では、平成22年(2010年)、27年(2015年)に引き続き人口減少となりました。

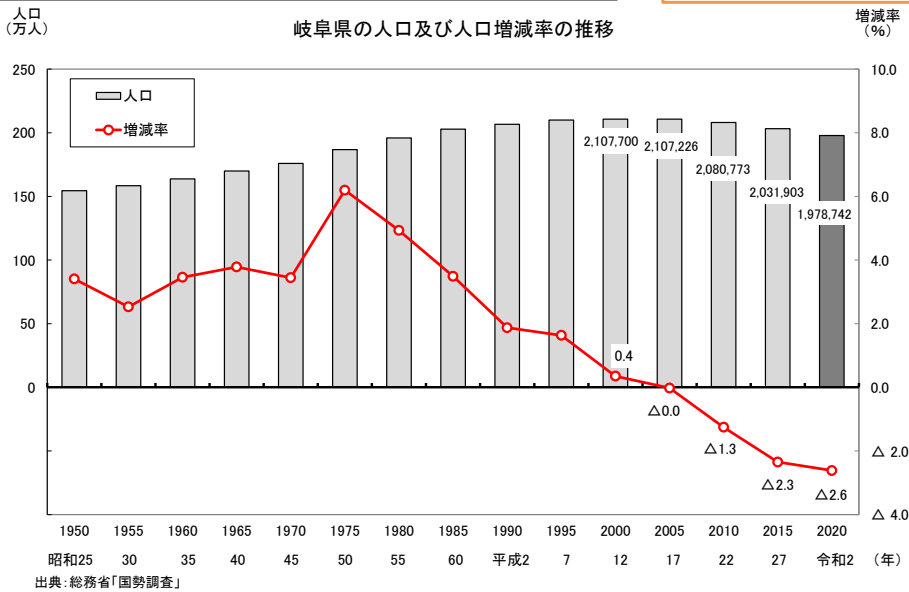
また、前回調査、平成27年(2015年)以降の5年間で約5万3千人(△2.6%)が減少しており、減少幅が拡大しています。

人口の動向

2020年国勢調査による県人口は、**197万8742人(全国17位)**  
 前回調査(2015年)以降の5年間で約5万3千人減少

県人口 2015年10月1日現在：2,031,903人  
 2020年10月1日現在：1,978,742人(△53,161人)

5年間の人口減少数は土岐市人口(55,348人)に匹敵



## ⑧人口減少の要因

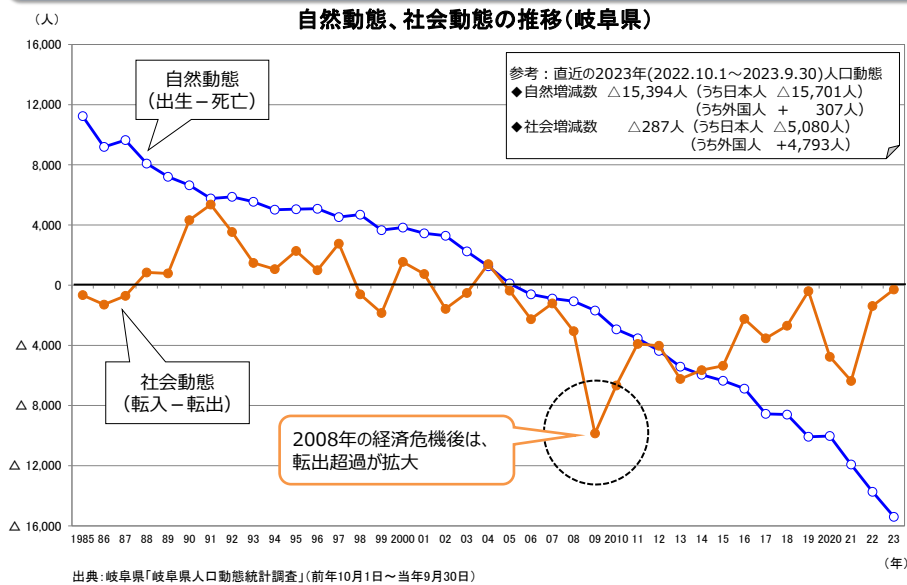
死亡数が出生数を上回る自然減少が拡大していることに加え、転出者が転入者を上回る社会減少が続くことが要因

岐阜県人口動態統計調査結果から、自然動態（出生－死亡）と社会動態（転入－転出）についてみると、自然動態、社会動態ともに減少が続いています。

昭和60年(1985年)からの推移をみると、自然動態は長期的な減少傾向が続いており、平成18年(2006年)に死亡数が出生数を上回る「自然減少」に転じてからは、減少幅が年々拡大し続けています。一方、社会動態は平成17年(2005年)以降、転出者が転入者を上回る「社会減少（転出超過）」が続いています。

### なぜ人口は減少しているか

死亡数が出生数を上回る自然減少が年々拡大していることに加え、転出者が転入者を上回る社会減少(転出超過)が続くことが原因



## ⑨ぎふの産業

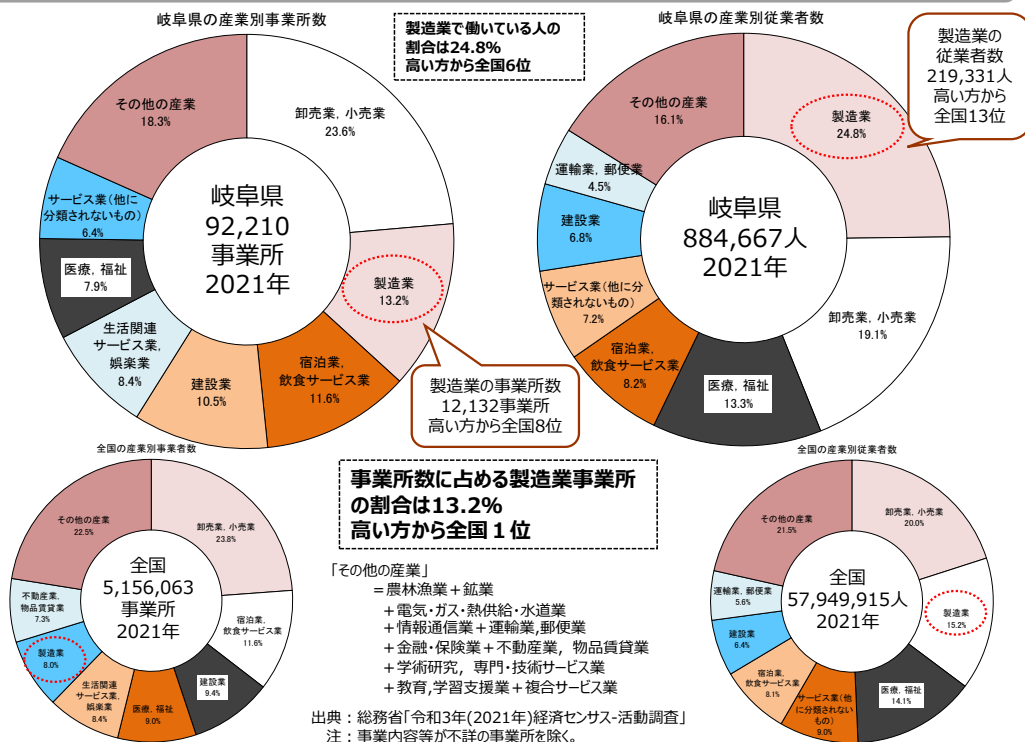
# 製造業の厚い集積を誇る

岐阜県では古くからモノづくりが盛んなことも特徴です。

豊かな森と水のおかげで、良質な木材、燃料となる薪、豊富な水、良質な土などに恵まれ、家具・木工、刃物、紙、陶磁器など、匠の技と日本の美を象徴する伝統工芸を生み出し、今日まで受け継いでいます。さらに、そうして培われたモノづくりの精神と技を礎にして新しい技術を取り入れながら発展を続け、伝統的な地場産業に加え、輸送機械、電気機械、工作機械、金型など個性ある技術を誇る様々な製造業が集積しています。

令和3年(2021年)経済センサス-活動調査によると、岐阜県の事業所のうち13.2%(全国8%)を製造業が占め、この割合は全国トップとなっています。また、全産業のうち製造業の従業者数が占める割合は24.8%で、全国順位は6位(全国15.2%)と高く、製造業に集中していることがわかります。

## 産業別の事業所数、従業者数でも、製造業の割合が高い



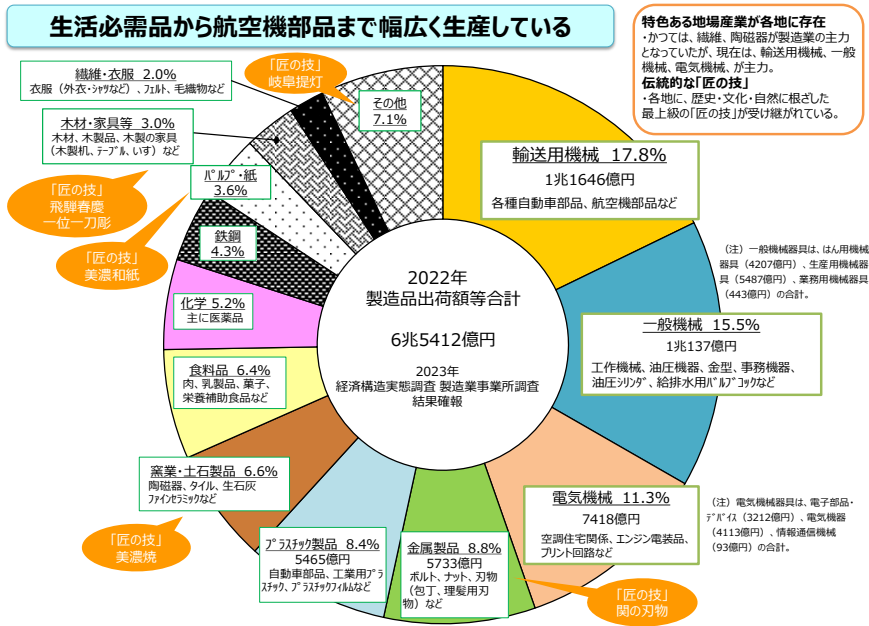


## ⑩製造業の内訳

# 生活必需品から航空機部品まで幅広く生産

令和5年(2023年)総務省・経済産業省「経済構造実態調査 製造業事業所調査」によれば、輸送用機械は本県の製造品出荷額のうち17.8%と最も多くを占める産業となっています。

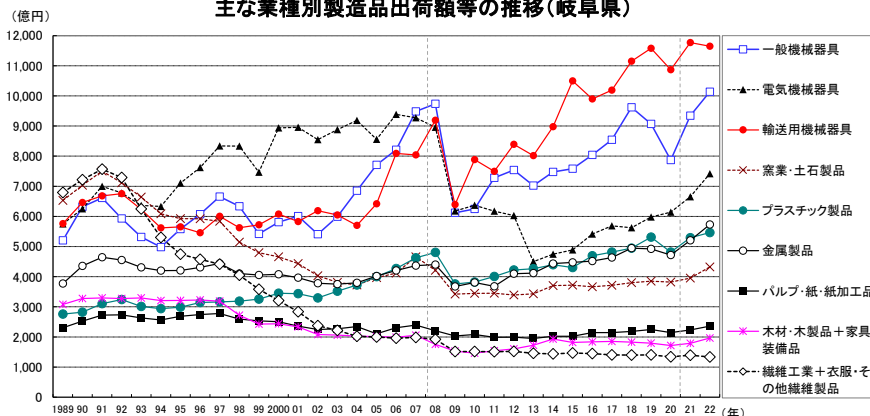
その他に、木工、刃物、陶磁器、和紙、アパレルなどといった伝統的な地場産業から、電気機械、一般機械まで幅広く生産されており、日本のモノづくり産業を支えています。



出典：総務省・経済産業省「令和5年(2023年)経済構造実態調査 製造業事業所調査」(個人経営を含まない)  
注：各項目の金額は単位未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計は一致しない。

## 輸送用機械、一般機械、電気機械が製造業の主力 かつてトップであった繊維、窯業土石といった地場産業は大きく減少

主な業種別製造品出荷額等の推移(岐阜県)



出典：総務省・経済産業省「経済構造実態調査 製造業事業所調査」(全事業所、個人経営を含まない)  
1989年～2019年は経済産業省「工業統計」(従業者4人以上)、ただし2011年、2015年、2020年は総務省「経済センサス-活動調査」(従業者4人以上)  
注1：電気機械器具には、情報通信機械と電子部品、デバイス・電子回路を含む。  
2007年から製造品出荷額等の内容に変更があり、当該事業所の転売収入額等も含めた額となっている。  
注2：「繊維工業+衣服+その他繊維製品」、「パルプ・紙・紙加工品」、「窯業・土石製品」、「一般機械器具」は産業分類の改訂により2007年と2008年は接続しない。  
注3：一般機械器具には、はん用機械器具、生産用機械器具、業務用機械器具を含む。  
注4：「経済構造実態調査 製造業事業所調査」と「工業統計」、「経済センサス-活動調査」は集計範囲等が異なるため単純比較できない。

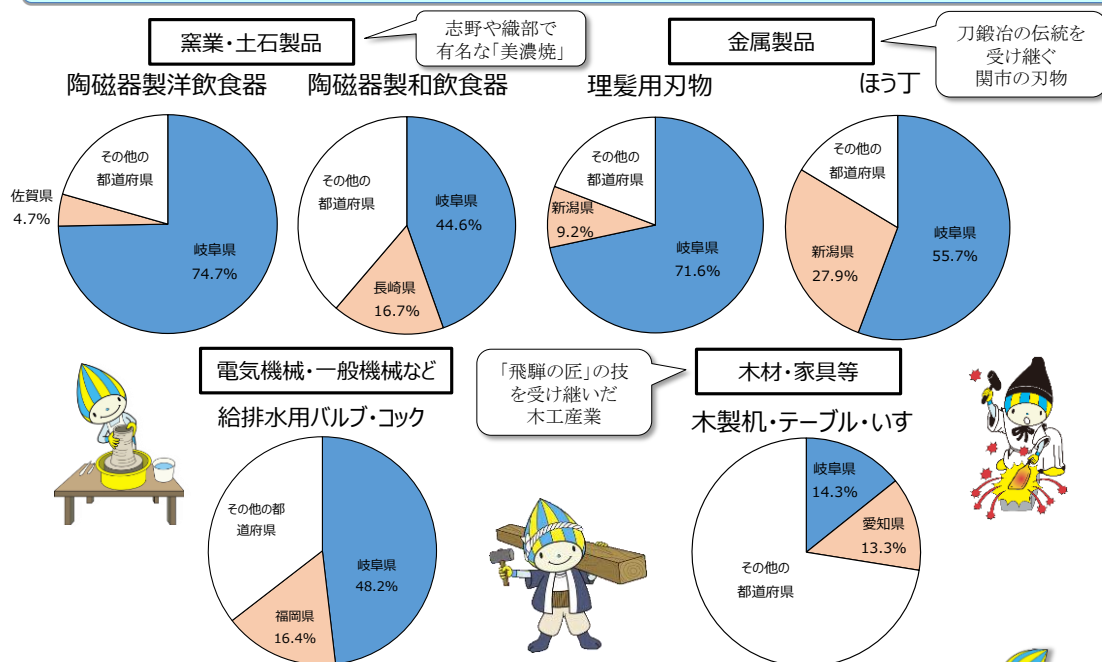
## ⑪品目別のトップシェア

### 陶磁器・刃物など全国トップの製品がたくさんある

令和5年(2023年)総務省・経済産業省「経済構造実態調査 製造業事業所調査」により、出荷額の全国シェアが高い主なものを紹介すると、関の刀鍛冶に端を発した刃物産業では包丁類55.7%、理髪用刃物71.6%と全国1位であり、日本の台所、美容院・理髪店は岐阜県の刃物産業が支えているとも言えます。また、本県は日本を代表する焼き物である織部や志野を生み出した「美濃焼」の産地であり、陶磁器関係の全国シェアは、和飲食器44.6%、洋飲食器74.7%、さらに「飛騨の匠」の技を受け継いだ木工産業では、木製机・テーブル・いすは14.3%と全国1位を誇っています。機械関係では、給排水用バルブ・コックは48.2%と全国1位で本県山県市は水栓バルブ発祥の地としても知られています。

また、岐阜県の航空機関連産業(航空機製造業、航空機用原動機製造業、その他航空機部品の計)の従業者数は6,810人と、愛知県、兵庫県に次いで全国3位となっています。

### 参考：製造業品目別出荷額等でみた全国シェア1位の主なもの(2022年)



### 航空機関連産業の従業者数は、愛知県、兵庫県に次いで3位

出典：総務省・経済産業省「令和5年(2023年)経済構造実態調査 製造業事業所調査」(個人経営を含まない)  
 なお、秘匿となっているものは除いたランキング。

## ⑫ぎふの観光

# 年間約 4300 万人の人々が観光で来訪

日本観光振興協会「数字でみる観光 2015」によると、宿泊旅行先での行動として多い順に、①「食を楽しむ」②「温泉を楽しむ」③「自然の風景や季節の花見を楽しむ」④「歴史や文化的な名所に訪れる」が上げられており、多くの人々が、グルメ、温泉、自然景観、伝統文化などを旅に求めていることが伺えます。

幸いなことに、本県は森と清流が織りなす四季折々の美しい景観、日本三名泉と呼ばれる「下呂温泉」や奥飛騨温泉郷等に代表される温泉、飛騨牛や鮎をはじめとした豊かな食、飛騨高山の古い町並み、郡上の徹夜踊り、1300年の歴史を誇る長良川の鵜飼などの伝統文化など、多くの観光資源に恵まれています。

令和4年(2022年)の岐阜県観光入込客統計調査によると、本県への観光客は約4,300万人に上ります。主なところを紹介すると、合掌造りの伝統家屋で世界遺産に登録された白川郷61万人、伝統的建造物が数多く受け継がれ、趣ある古い町並みで有名な高山地域229万人、下呂温泉91万人、世界最大級の淡水魚水族館「アクア・トトぎふ」がある河川環境楽園454万人となっています。

近年外国人観光客が増加傾向にあり、令和4年(2022年)は外国人観光客が10万4千人(宿泊客)となっています。

### 観光

## 岐阜県には年間約4300万人の人々が観光で来訪

◆県の観光入込客数(実人数)  
4262万6千人

◆観光消費額 2702億円

観光地点別の集客数  
出典：令和4年(2022年)  
岐阜県観光入込客統計調査



観光地点別の集客数（県内トップ10）

（単位：万人）

順位	観光地点名	入込客数
1	土岐プレミアム・アウトレット	493.0
2	河川環境楽園（アクア・トトぎふ含む）（各務原市）	454.1
3	高山市街地エリア	229.4
4	湯の華アイランド（可児市）	161.7
5	伊奈波神社（岐阜市）	130.3
6	養老公園（楽市楽座・養老、養老天命反転地、岐阜県こどもの国含む）	123.5
7	千本松原・国営木曾三川公園（海津市）	112.6
8	千代保稲荷神社（海津市）	110.0
9	岐阜公園	97.6
10	下呂温泉（旅館の宿泊利用及び日帰り利用）	91.3

行祭事・イベント入込客数（県内トップ10）

（単位：万人）

順位	行祭事・イベント名	入込客数
1	ぎふ信長まつり	62.0
2	たじみ陶器まつり（春）	18.0
3	チューリップ祭（海津市）	17.9
4	道三まつり（岐阜市）	16.0
5	高山祭	15.5
6	土岐美濃焼まつり	14.0
7	各務原市桜まつり	10.0
8	刃物まつり（関市）	9.0
9	郡上おどり	7.2
10	みのじのみのり祭（恵那市）	7.0

（出典：岐阜県観光国際政策課「令和4年(2022年)岐阜県観光入込客統計調査」）

⑬ぎふ県民の生活

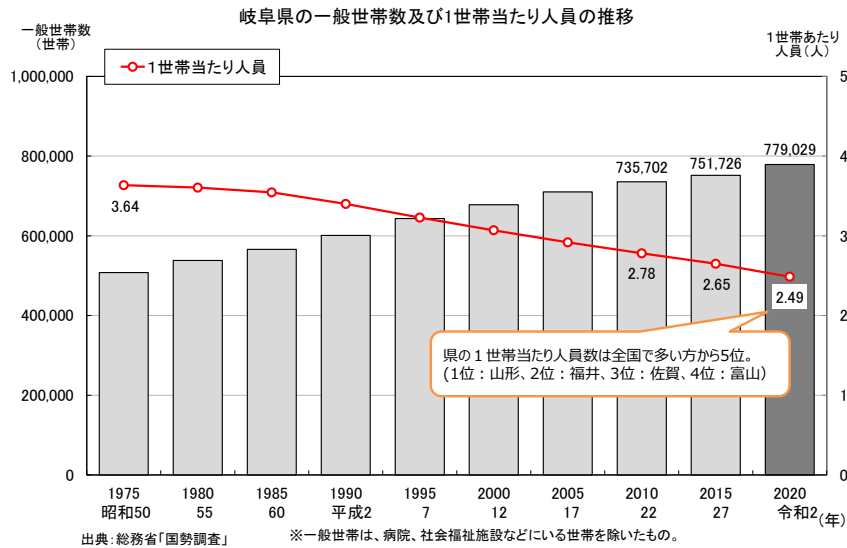
## にぎやかで助け合って暮らす県民性

令和2年(2020年)国勢調査によると、一般世帯数は779,029世帯、一世帯当たり人員は2.49人(全国2.21人)と多いほうから全国5位でした。

また、3世代同居世帯の割合は8.3%(全国4.2%)で全国12位と比較的家族が多い県と言え、家族が集まってにぎやかに暮らす様子が伺えます。逆に、単独世帯割合は29.5%(全国38.1%)で全国45位と低く、1人暮らし世帯が少ない県です。

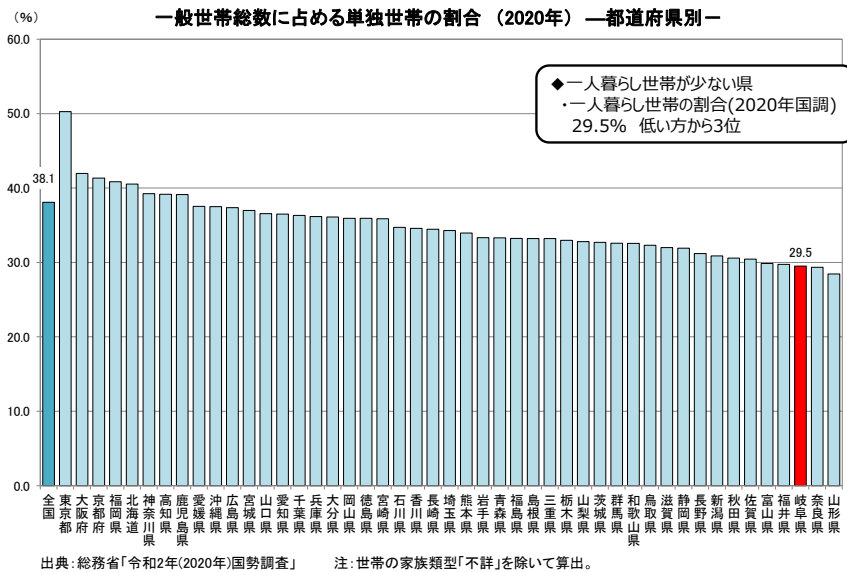
世帯の動向(2020年国勢調査からみる家族の姿)

人口が減る一方、一般世帯は一貫して増加、約78万世帯となった  
～1世帯当たり人員は2.49人と過去最低 小家族化が進む～



全国との比較

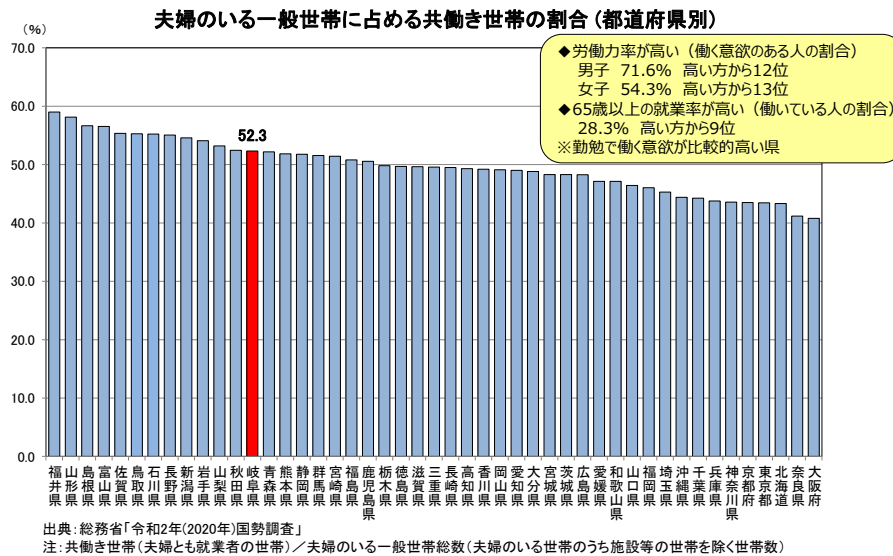
岐阜県は一人暮らしが少ない方(低い方から全国3位)



また、令和2年(2020年)国勢調査によると労働力率は男性71.6%で全国12位、女性は54.3%で全国13位、65歳以上の就業率は28.3%で全国9位、夫婦のいる一般世帯に占める共働き世帯の割合も52.3%と全国13位で、比較的勤勉で働く意欲が高い傾向が見られます。令和元年(2019年)全国家計構造調査で見ると、総世帯のうち勤労者世帯で一世帯当たりの月間収入は473,788円と全国8位、令和5年(2023年)住宅・土地統計による持ち家比率は73.7%と全国6位、一人当たり居住室の畳数は16.76畳で全国8位と広く、ゆとりを持って暮らしている様子が伺えます。

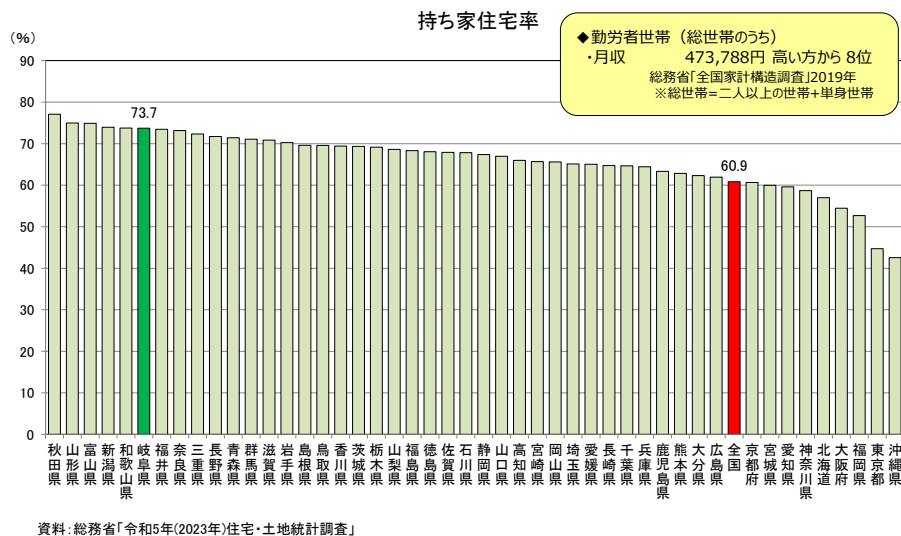
## 夫婦の共働きが多い方

岐阜県の2020年の夫婦共働き世帯は24万0496世帯で、夫婦のいる一般世帯総数(45万9634世帯)に対する割合は52.3%、全国13位と高い。(全国47.1%)



## ゆとりをもって暮らしている

○県の居住世帯のある住宅のうち、持ち家の割合は73.7%で全国6位。全国平均は60.9%  
 ○県の1人当たり居住室の畳数は16.76畳で、全国8位と広い。全国平均は14.69畳。



⑭ぎふ県民の好きなもの

## 外食好きな岐阜の人

岐阜県民の食生活を家計調査から見ると、柿の購入量が多いことや、外食の消費金額が高いことが特徴です。外食の消費金額を見ると、和食、中華食、洋食は全国1位、すしは全国3位、日本そば・うどんは全国4位。いわゆる「モーニングサービス」で有名な喫茶代は全国1位となっています。人口あたりの喫茶店の数も多く、岐阜市の喫茶代年間支出額は14,400円と全国平均(7,621円)の約2倍。日常的に喫茶店を利用する習慣が根付いています。

飲食店数(令和3年(2021年)経済センサス)を見てみると、外食志向を反映して、居酒屋等を除く千人当たりの飲食店の数、喫茶店の数は全国2位と、飲食店の多い県となっております。皆でわいわいと食卓を囲み楽しむ姿がうかがえます。

### 岐阜の人はこんなことが大好き

★スナック菓子と柿が大好き

その他こんなものの購入金額も多いです



**柿 (かき)**  
 購入量 : 全国1位  
 購入金額 : 全国1位



**スナック菓子**  
 購入金額 : 全国1位

- 全国 2位 ・和生菓子 (ようかん、まんじゅう以外)
- 全国 3位 ・キャンデー  
・コーヒー飲料
- 全国 4位 ・もち  
・魚介のつくだ煮  
・生しいたけ  
・乳酸菌飲料
- 全国 5位 ・ハム  
・卵

出典：総務省「家計調査（二人以上の世帯）品目別都道府県庁所在地及び政令指定都市ランキング(2021年～2023年平均)」  
 (1世帯あたり品目別年間支出金額・購入数)

### 岐阜の人は外食が好き 家計調査では上位

外食		日本そば・うどん		すし(外食)		和食		中華食		洋食		喫茶代	
順位	金額	順位	金額	順位	金額	順位	金額	順位	金額	順位	金額	順位	金額
0 全国	148,906	0 全国	5,903	0 全国	14,320	0 全国	21,156	0 全国	4,250	0 全国	10,162	0 全国	7,621
1 東京都	211,926	1 高松市	15,345	1 金沢市	22,905	1 岐阜市	40,235	1 岐阜市	8,225	1 岐阜市	17,470	1 岐阜市	14,400
2 さいたま市	200,243	2 静岡市	9,448	2 静岡市	19,765	2 名古屋	32,905	2 神戸市	7,471	2 宇都宮市	16,710	2 名古屋	12,308
3 名古屋市	198,819	3 宇都宮市	8,123	3 岐阜市	19,252	3 高松市	32,641	3 横浜市	7,444	3 名古屋市	16,559	3 東京都	11,598
4 川崎市	185,221	4 岐阜市	7,908	4 名古屋市	17,974	4 松本市	31,068	4 崎市	7,368	4 横浜市	15,536	4 さいたま市	10,326
5 岐阜市	184,105	5 山形市	7,873	5 札幌市	17,474	5 金沢市	29,170	5 川崎市	7,170	5 東京都	14,794	5 横浜市	10,076
6 横浜市	178,087	6 前橋市	7,860	6 富山市	17,453	6 富山市	28,886	6 東京都	6,738	6 高松市	14,768	6 川崎市	10,062
7 金沢市	175,106	7 仙台市	7,480	7 山形市	16,976	7 静岡市	28,124	7 静岡市	6,252	7 名古屋市	14,344	7 神戸市	9,284
8 神戸市	174,227	8 名古屋市	7,251	8 高松市	16,500	8 東京都	26,986	8 静岡市	5,972	8 静岡市	14,180	8 京都市	8,982
9 千葉市	171,895	9 富山市	7,185	9 川崎市	16,500	9 川崎市	25,699	9 千葉市	5,821	9 水戸市	14,166	9 大津市	8,589
10 宇都宮市	167,791	10 徳島市	7,111	10 宇都宮市	16,209	10 東京都	25,335	10 宇都宮市	5,780	10 札幌市	13,998	10 金沢市	8,484
11 高松市	167,168	11 金沢市	7,065	11 東京都	16,174	11 横浜市	24,727	11 高松市	5,676	11 富山市	13,558	11 千葉市	8,345
12 福岡市	164,960	12 佐賀市	7,008	12 京都市	15,825	12 高松市	24,485	12 高松市	5,425	12 金沢市	12,989	12 堺市	8,063
13 静岡市	162,211	13 さいたま市	6,974	13 奈良市	15,684	13 徳島市	24,402	13 奈良市	5,406	13 高松市	12,896	13 奈良市	7,952
14 大津市	162,137	14 松江市	6,967	14 福島市	15,658	14 堺市	24,238	14 京都市	5,232	14 佐賀市	12,854	14 相模原市	7,617
15 京都市	161,558	15 広島市	6,878	15 京都府	15,613	15 奈良市	24,074	15 大阪府	5,185	15 千葉市	12,253	15 福岡市	7,582
16 堺市	159,077	16 北九州市	6,876	16 長崎市	15,459	16 徳島市	24,026	16 山形市	5,184	16 新橋市	12,157	16 大阪市	7,560
17 富山市	158,242	17 岡山市	6,760	17 相模原市	15,459	17 さいたま市	23,933	17 大津市	5,072	17 山形市	12,029	17 宇都宮市	7,447
18 徳島市	157,098	18 福岡市	6,751	18 さいたま市	15,224	18 広島市	23,571	18 金沢市	4,769	18 さいたま市	11,888	18 岡山市	7,334
19 仙台市	155,358	19 浜松市	6,632	19 秋田市	15,185	19 大塚市	23,263	19 水戸市	4,661	19 山口市	11,431	19 徳島市	7,254
20 奈良市	154,698	20 高松市	6,560	20 鳥取市	14,979	20 浜松市	23,156	20 徳島市	4,658	20 堺市	11,233	20 高松市	7,234

出典：総務省「家計調査（二人以上の世帯）品目別都道府県庁所在地及び政令指定都市ランキング(2021年～2023年平均)」



データからも岐阜の人は外食が好き  
なことがよくわかるね。

## <まとめ>

統計から見た岐阜県の特徴やじまんについて、主なものをご紹介しました。ふるさと岐阜県の「特徴」や「じまん」を知るきっかけとなりましたら幸いです。

岐阜県統計課では、グラフ作成や資料の分析など、統計分野に関する実践的な出前授業「データ活用講座」を実施しています。

この出前授業は、この資料で紹介したように、データの裏付けをもって本県や地域の特徴を知る学習も取り入れており、ふるさとへの愛着を深める機会としても活用しています。また、その成果等を取りまとめた分かりやすい教材についてもホームページで公開しています。ぜひ「データ活用講座」を積極的にご活用ください。

なお、今回ご紹介した本県の「特徴」や「じまん」はごく一部に過ぎません。この他にもそれぞれの地域にある「特徴」や「じまん」について、ぜひともご紹介いただけましたら幸いです。